

# 平成 29 年度 学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校 学校関係者評価結果

評価基準項目の判定記号は、以下のとおりとする。

記号	判定基準の内容
A	適切に実施している。
B	一部実施していない、もしくはやや不適切
C	実施していない、もしくは不適切

※ 年度別評価欄内の評価 A~C は総合評価、下の%は小項目ごとの評価 (A~C) の割合を示す。

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は、定められているか 育成人材像は専門分野の関連する業界等の人材ニーズに適合しているか 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	B A:50% B:50% C:0%	B A:50% B:50% C:0%

### 【 現状の取組状況 】

教育基本計画を定め理念を明らかにし、学校案内や募集要項などに記載している。学生には直接「学習案内」を配布説明して、保護者には配布または送付により周知を図っている。

教育課程と授業計画は、関連業界等との連携協定及び協力を得て作成している。

### 【 課題 】

在学生及び保護者に学習案内を活用して、本校の基本理念や教育内容と方針の理解を深める努力をしている。保護者および就職先から個々の教育成果について、理解を得るよう工夫を重ねる。また、就職先から求められる知識や、技能及び人材として具備されているべき要件がどのようなものか詳細に把握するよう努めていく。

教育方法とその内容の充実により、社会ニーズに的確に対応して行く手法の確立が早急に求められている。

### 【 今後の改善方向 】

今後も本校の独自性について、入学前から学生・保護者が理解を得る情報提供に努めてゆくとともに、就職先や地域等に対してアンケート調査などを実施する。

後期授業の充実に資するため、非常勤講師による実習期間内の見学機会を計画する。

平成 29 年度において「北海道農業専門学校整備 5 カ年計画」の作成を予定しており、より基本理念に則した具体的な改善策の作成と社会ニーズへの対応策の作成に努める。

## 基準2 学校運営

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか	B  A:86% B:14% C:0%	B  A:71% B:29% C:0%
事業計画	理念等を達成するための事業計画を定めているか		
運営組織	設置法人は組織運営を適切に行っているか 学校運営のための組織を整備しているか		
人事・給与制度	人事給与に関する制度を整備しているか		
意思決定システム	意思決定システムを整備しているか		
情報システム	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか		

### 【 現状の取組状況 】

教育及び農場の運営方針は、理念に沿った内容で明確な文章化によって行動計画を定めている。

組織運営は、教職員自己評価をおこなうことで 理念に基づく事業運営方針の浸透度を確認している。

理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に運営して問題なく、資金運用規程等を定めて財務部会で検討し理事長に諮問している。決定の権限は、理事長が持つ。

### 【 課題 】

学生による授業評価や、教職員の自己評価結果を効果的な運営改善に向けた努力の継続する必要がある。

現在、財政の安定化を優先的に進めているが、社会情勢に柔軟に対応できる教職員の教授能力や組織運営能力、所持資格などの人材育成や資質向上に積極的に努める必要がある。

### 【 今後の改善方向 】

現在、教職員の質が問われことから、組織的な質の向上を規程で明らかにして昇任および人事考課制度規程等の整備と運用規定の作成について検討する必要がある。

平成 29 年度に策定を予定している北海道農業専門学校整備 5 カ年計画により、具体化させた制度運営および事業計画の策定推進の指針としてゆく。

### 基準3 教育活動

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 学科毎に修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか	B  A:54% B:46% C:0%	B  A:23% B:77% C:0%
教育方法・評価等	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 教育課程について外部の意見を反映しているか キャリア教育を実施しているか 授業評価を実施しているか		
成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 作品および技術等の発表における成果を把握しているか		
資格・免許の取得の指導體制	目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置付けているか 資格・免許取得の指導體制はあるか		
教員・教員組織	資格・要件を備えた教員を確保しているか 教員の資質向上への取組を行っているか 教員の組織体制を整備しているか		

#### 【 現状の取組状況 】

教育課程編成委員会は開催規程を定め議事録を作成し、検討内容を教職員へ周知をしている。

全寮制で実習主体の教育環境により、社会の一員としての協調性や勤労観を養い、農村社会人としての基礎的能力の育成を図っている。就職先企業などを職業説明会へ呼ぶなどして、卒業生から在校生に対し意見や評価を聞き取る機会を持ち進路への参考としている。

学生から教員の教授力等についての評価アンケートを取り、結果を共有化し授業改善に努めている。

教員組織における業務分担・責任体制を規程等で明確に定め実践し、それに基づいた成績評価や修了認定を適切に実行している。

#### 【 課題 】

夏期間の生産実習の中で、指導要項に定める各項目を全学生に同程度経験させることは時間的に困難なため、選択方式等などの導入検討が必要となっている。実習・演習と講義の間に時間があるため、習熟させる時間配分と授業方法の工夫には継続した改善が必要である。

#### 【 今後の改善方向 】

資格試験の活用した学習や企業連携実習の充実を図り、企業などと連携して教材開発を進める。

後期講師による現地ゼミナールの充実で、生産実習との関連を持たせた授業としてゆく。

また、卒業後一定期間を経た卒業生や就職先へ、アンケート調査の実施方法を検討する。

教員の知識・技術・技能レベルが、関連業界レベルに適合しているか指標の作成に努め、専門性や教授力の把握とその評価を実施して行く。

#### 基準4 学修成果

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
就職率	就職率の向上が図られているか	B	B
資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られているか	A:67% B:33%	A:33% B:67%
卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握しているか	C: 0%	C: 0%

##### 【 現状の取組状況 】

学校は就職活動をほぼ把握し、就職率等のデータは適切に管理している。

学校主催で関連業界等と連携して「就職相談会」を実施し、業務内容を理解した中で就職活動ができるように努めている。

資格取得に向け、学内で作業関連資格の取得が可能となるよう環境整備に努めている。

##### 【 課題 】

卒業後の就職範囲が広く農村に広がっているため、組織的に就職先を訪問することは困難であるが、今後は卒業後の離職率などの把握に務める必要がある。

##### 【 今後の改善方向 】

卒業後3年をめどにアンケートを取るなど、進路指導が適切であったかを確認する必要があり、勤務実態などの把握を行う方法について検討する。

## 基準5 学生支援

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	B  A:50% B:42% C: 8%	B  A:42% B:50% C: 8%
中途退学者への対応	退学率の低減が図られているか		
学生相談	学生相談に対する体制を整備しているか 留学生に対する相談体制を整備しているか		
学生生活	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか 課外活動に対する支援体制を整備しているか		
保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか		
卒業生・社会人	卒業生への支援体制を整備しているか 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか		

### 【 現状の取組状況 】

学生数が少ないため、各科の担任教員が能力や適性に応じた進路指導を行っている。

中途退学の要因は把握しており、指導経過記録も保存している。また、心理面での指導のために学生相談室を開設し、学生のサポートに努めている。

学校独自の奨学金制度は整備していないが、学費の分割納付制度を整備している。さらに、公的資金による支援制度の利用に関する情報の提供と、その申請支援をしている。

年1回の健康診断を実施し、寮生活をとおして日々の体調観察を行うため職員を常駐させている。また、保護者との緊急連絡体制は、十分に確保されている。

同窓会は組織されており、事務局は学内にある。

学校主催のしごと相談会をとおし、連携企業などから業務説明などを受ける機会の確保と、卒業生からの相談にも適切に対応している。

### 【 課題 】

近年、求人数の増加に伴い、学生の就職先を早期決定させようとする意欲が低下している。

学生寮における食事は、栄養士による管理に基づき提供しているが栄養に偏りが認められ、学校負担の食費を増額させ改善を検討している。

また、学生のクラブ活動支援の充実を検討する必要がある

### 【 今後の改善方向 】

教職員から学生に対し、目的意識を高く持つ進路指導が必要である。また、社会人経験者が受験しやすい入試制度や、優先的な受け入れなどの検討が必要となっている。



## 基準6 教育環境

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育機具等を整備しているか	B	B
学外実習、インターンシップ	学外実習、インターンシップ、海外研修などの実施体制を整備しているか		
防災・安全管理	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか		
		A:25% B:75% C:0%	A:25% B:75% C:0%

### 【 現状の取組状況 】

校舎や実習施設・設備および機器類等は、十分な広さの確保と数量の準備で対応しているが、老朽化や経年劣化等が目立つ。図書室や実習室などを設置しているが、老朽化している備品が多い。

インターンシップは、その実施意義や教育課程上の位置づけを明確にしている。

消防施設や器具の整備点検は適切に対応し、防火訓練も定期的実施している。

事故対応の病院搬送基準、病院一覧は整備している。

実験用の薬品チェックは定期的に行っており、安全管理責任者も明確にしている。

### 【 課題 】

施設設備の老朽化と経年劣化に伴い、新規導入や更新計画の作成が必要である。

インターンシップが希望制のため、参加者の年次変動や片寄りがある。

古い薬品および廃液処分計画の作成と、適切な処理の実践。

### 【 今後の改善方向 】

施設設備の導入および更新は、北海道農業専門学校整備5カ年計画に位置付け順位付けをし、計画的な購入や更新をしてゆく。

1年生を対象とした、インターンシップの説明強化と内容充実のための検討を図る。

## 基準7 学生の募集と受入れ

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
学生募集活動	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる 学生募集を適切、かつ、効果的に行っている	A	B
入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	A:100% B: 0% C: 0%	A:33% B:67% C: 0%
学納金	経費内容に対応し、学納金を算定しているか 入学辞退者に対し、授業料等について適切な取り扱いを意を行っているか		

### 【 現状の取組状況 】

過年度入学者を輩出した高校等への訪問を行い、年3回の入学者募集年3回とオープンキャンパスを行っている。また、願書受付日や入学試験日は、北海道専修学校各種学校連合会の示した自主規制に即して設定している。

入学試験における配点・採点基準を定め、筆記試験と面接で総合的な判断で可否を判定している。また、合格率・辞退率などの現況を示すデータは蓄積し、適切に管理している。

入学後は、担任制を敷き学生の傾向を早期に把握できるよう計っている。

学納金等徴収する金額はすべて明示し、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱い規程を設け適切に取扱っている。

### 【 課題 】

受験者に希望の専攻、コースごとの人数に年変動が大きいと、均一化させる方法の検討が必要である。また、専攻科ごとの学生数に年次変動が大きいと、適性に応じた卒業後の進路指導方法の充実検討が必要である。

### 【 今後の改善方向 】

入試日程の早期化と、より大学併願が容易となる制度などに関する検討を図る。



## 基準8 財 務

中 項 目	小 項 目	H28 評価	H27 評価
財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	B  A:67% B:33% C:0%	B  A:67% B:33% C:0%
予算・収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中長期計画を策定しているか 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか		
監査	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか		
財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか		

### 【 現状の取組状況 】

応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握して収入計画に反映させており、貸借対照表の翌年度繰越収入超過額はプラスである。さらに、日本私学事業団の学校法人経営分析指針に添って、適切に学園経営状況を分析している。

私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している。監査報告書を作成し、理事会等で監事監査結果を報告しているが、監査法人による外部監査は実施していない。

財務帳票、事業報告書は作成し、ホームページ上で公開をしている。

### 【 課題 】

収支はプラスとなっているが、更なる安定に向けた対策が必要である  
財務公開規程の作成と適切な運用の実施。

### 【 今後の改善方向 】

各担当部署コストの、管理を統一化させた運営を図る。

## 基準9 法令等の順守

中 項 目	小 項 目	H28 評価	H27 評価
関係法令、設置 基準等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適切な学校運営を行っているか	B	B
個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施している		
学校評価	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 自己評価結果を公表しているか 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 学校関係者評価結果を公表しているか		
教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的に行っている		

### 【 現状の取組状況 】

施設設備は設置基準に適合し、諸届等も適切に報告を行っている。また、寄附行為、学則、庶務規程等に加え、教務規程等の必要な諸規定の整備は適宜行っている。

学校の開設したサイトの運営をはじめ、管理情報の漏洩には適切な防止策を講じている。

自己評価報告書は取りまとめ、HP で教育内容を積極的に公開している。学校案内を毎年更新し広く配布しているほか、入学試験の過去問題を公開している。

### 【 課題 】

女子生徒の応募の増加に伴い、セクシャルハラスメント等の対応マニュアルの作成が必要である。組織的に、自己評価報告書の取りまとめ結果を業務改善に役立てる体制整備の必要がある。

### 【 今後の改善方向 】

個人情報保護規定や学内の電磁記録の取り扱い規定など、早急に整備運用することが必要である。自己評価結果を全職員で共有し、学校関係者評価報告書と合わせてHP で公表を継続していく。

## 基準10 社会貢献・地域貢献

中項目	小項目	H28 評価	H27 評価
社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っている国際交流に取り組んでいるか	B	B
ボランティア活動	学生のボランティア活動を推奨し、具体的な活動支援を行っているか	A:33% B:67% C:0%	A:33% B:67% C:0%

### 【 現状の取組状況 】

学校施設・設備等を活用して実施する家畜人工授精師講習会を連携機関の職員に開放している。  
環境問題貢献のため、廃食油の回収とバイオディーゼル燃料への転換をしている。  
JICA の研修生を対象とした見学対応や農場実習を引き受けている。

### 【 課題 】

生涯学習講座は、職員の負担が大きき時期が多く実施できていない。

### 【 今後の改善方向 】

社会貢献や地域貢献のため、学校施設の開放は申請に応じ継続して協力して行く。  
冬期間の除雪ボランティアなど、学生に負担とならない時期の活動を推進して行く。

## 平成28年度重点目標達成についての自己評価

### 平成28年度重点目標

- 1) 学園財政の黒字化
- 2) 入学者数の定員充足
- 3) 農場各科生産目標の達成
- 4) 100%の就農・就職率
- 5) 学生の資格取得促進

### 達成状況

- 1) 学園財政の黒字化されている。
- 2) 入学者数の定員充足は、入学者は前年度と同様の25名と35名定員を下回るものであった。
- 3) 各科個別に変動はあるが、農場全体で生産目標を達成した。
- 4) 100%の就農・就職率は、達成できた。(就職者23名/卒業生23名)
- 5) 資格取得納付金制度を27年度入学者から運用開始をし、資格試験の受講率の向上が図られた。

### 今後の課題

- 1) 継続的な、学園財政の安定化の維持向上させてゆく。
- 2) 入学者数の定員充足は、入学試験受験者におけるオープンキャンパス参加者の割合が高いため該当する高校への訪問を積極的に行い、今年以上の情報発信を行っていく。
- 3) 農場各科生産目標の達成は、本年度は学生数減少の中でも学生へ過度な負担を掛けることなく平常並みの生産実習を行えたことから、今後も現状規模の職員体制を維持してゆく。
- 4) 100%の就農・就職率の維持に向け、インターンシップや体験実習などへの参加者数を増加させることで積極的な進路開拓につなげてゆく。
- 5) 資格取得納付金制度の活用を図り、資格取得を勧めていく。